

年頭のごあいさつ



西原町長 崎原 盛秀

あけましておめでとうございます

副町長 小橋川 健次 教育長 新島 悟

ハイサイ、グスヨー、イソーグワチデービル。新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、世界情勢、社会情勢不安や物価高騰が続く厳しい環境の下にありましたが、町政運営に対し多くのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。町民の皆様の温かな支えにより、さまざまな施策を着実に進めることができました。

昨年の主な取り組みとしては、子育て支援の一環として西原東こども園を開園し、学校給食費の助成を行ったほか、地域活性化のため西原まつりを開催しました。自主財源確保に向けては、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の取組を強化し、また戦後80年の節目にふさわしい平和事業にも取り組んでまいりました。

令和8年においても、本町最後の町立幼稚園である西原幼稚園の町立幼保連携型認定こども園への移行をはじめ、自治体DX推進により行政サービスの向上を図ります。西地区土地区画整理事業や国道329号バイパス及び県道浦添西原線の早期整備を促進するとともに、持続可能な財政基盤の確立に向けて、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の拡充、ネーミングライツ実施に向けた取り組みなど、町の重要な施策を推進してまいります。

私たちの力の源は、何より町民の皆様の一人一人の協力と信頼です。町民、事業者と町が手を携え、協働の力で着実な成果を生み出していくことが原点です。皆様のご意見やご要望を大切にし、誰もが参画できるまちづくりを進め、より良い未来を共に築いてまいります。

本年も、未来を担う子どもたちが笑顔で安心して暮らせる「文教のまち西原」を目指して、町政運営に邁進してまいります。新しい年が、希望と喜びに満ちた一年となりますよう、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

2026年元旦



西原町議会議長 大城 純孝

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。輝かしい2026年の年頭にあたり、議会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

長引く物価高騰などによる社会経済の混乱は、昨年においても町民の暮らしに大きな影響を及ぼしました。

このような中、本町を取り巻く環境も厳しさを増し、高齢者福祉や子育て支援の充実、デジタル社会への対応、防災の取り組みなど、直面する課題は多種多様です。

我々議会では、町民の皆様の生活、安心安全、健康を第一に考え、複雑多様化する町の課題を解決するため、住民の代表として西原町の発展のために議会活動に精励してまいりました。

今秋、任期満了による町議会議員の選挙が予定されております。全国では近年、議員のなり手不足や待遇改善が課題となつております。若年層をはじめ幅広い世代に興味を持っていただくため、今年も開かれた議会を目指し、「議会だより」や「議会の動画配信(ユーチューブ)」など、議会活動の情報提供を図って参ります。

私たち今期の議員も残すところわずかになりましたが、町民の負託に応えるべく、議会活動に精励してまいります。町民の皆様には、これからも町議会に対する温かい支援・ご助言をお願い申し上げます。

今年は、午年であります。馬がさっそうと大地を駆けるがごとく、干支にちなみ飛躍、躍進、発展の年になりますことを町民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ新年のご挨拶をいたします。

2026年元旦

あけましておめでとうございます

副議長 大城 誠一
議員 伊集 悟
議員 新川 喜男

議員 真栄城 哲
議員 長浜 ひろみ
議員 比嘉 利和

議員 与儀 清
議員 伊計 裕子
議員 屋比久 満

議員 大田 實
議員 喜納 昌盛
議員 大城 好弘

議員 山城 勝貴
議員 新田 宗信
議員 仲松 勤

議員 儀間 駿太郎
議員 與那嶺 良樹
議員 前里 光信

わったー まちの話題

11月3日 ブックフェスタで「読書の秋」を堪能

「第14回ブックフェスタ～喜楽星のたまて箱～」が西原町立図書館で開催され、町立小・中学校6校の読み聞かせサークルと居場所教室語り塾で構成する「読みあいネットワーク喜楽星7」による読み聞かせ・手作り体験等のプログラムで、約90名の方が「読書の秋」を楽しみました。



11月14日 米大リーグで働くマッサージセラピスト

米大リーグのフィラデルフィア・フィリーズでマッサージセラピストとして働く、西原町出身の玉那霸凌さんが町役場を訪れました。

玉那霸さんは、西原東中学校の1年生まで西原町で野球を続け、その後は大学まで投手としてプレーをしていました。しかし、肘の怪我で選手を断念し、その経験を強みとしてアスリートをサポートする道を選んだそうです。

玉那霸さんは「自分だけの力じゃない環境で、チームみんなで力を合わせ、ワールドチャンピオンを目指していきたい」と抱負を語りました。



11月16日 小那霸の伝統芸能 国立劇場で披露

小那霸伝統芸能保存会が出演した「第12回特選沖縄の伝統芸能」(沖縄県・沖縄県文化協会主催)が国立劇場おきなわ大劇場で行われました。この公演は、沖縄県内各地に伝わる多彩で豊かな伝統芸能や伝統行事の発信及び活性化を図ることを目的に毎年開催されています。

小那霸伝統芸能保存会は、約200年前から伝わる女踊り「花笠三段節」と戦前・戦後を通じて踊られてきた祝儀舞踊「鶴龜踊り」を披露し、会場に詰めかけた大勢の観客を魅了しました。



写真提供：沖縄県文化協会 撮影：早瀬 竜太(ケネスクリエイト・オキナワ)

11月26日 チアダンス全国大会出場報告

福地奏海さん(西原小学校5年)所属のCherryBlossom沖縄Bellusが第25回全日本チアダンス選手権大会九州予選大会のYouth編成Pom部門Smallで第4位となり、全国大会への出場報告のため、町役場を訪れました。

福地さんは「初めて全国大会に行くことができるので、入賞できるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

崎原町長は「試合の中では笑顔を絶やさず、優勝を目指して頑張ってほしい」と激励しました。



11月29日 野球教室 児童生徒ら楽しく技術を学ぶ

野球指導をする小森孝憲さん▶

西原町観光まちづくり協会主催の「野球教室NISHIHARA」が東崎公園野球場で開催され、約200名の児童生徒らが参加しました。

講師として、全日本大学軟式野球日本代表の國吉翔太さんや2010年に興南高校で甲子園春夏連覇した国吉大陸さん・大将さん兄弟、元沖縄電力野球部の大嶺俊貴さんといった西原町出身の方々が指導しました。さらに、スペシャルゲストとして、野球YouTuberのトクサンTV、元プロ野球選手の小森孝憲さんも加わり、会場を盛り上げました。

教室では、最初にキャッチボール指導が行われ、その後、講師たちによる守備の実演、そして体幹を意識したバッティング練習などが行われました。参加者たちにとって、高い技術を間近で楽しく学べる貴重な野球イベントとなりました。



児童と交流する国吉大陸さん▶